第７期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート 【自立支援、介護予防又は重度化防止】

市町村名：竹田市

	項　目	現状と課題	理　想　像	取　　組	目　　標	取組状況と実績	自己評価		次年度対応策
記入要領	**◆自立支援、介護予防又は重度化防止** **◎項目名を記入してください。** 〈例〉 ・認知症施策 ・地域ケア会議　等 ※内容に応じて自由に設定してください。	**◎「取組と目標」を設定した背景（現状と課題）を記入してください。** ・計画に記載していればそれでもよい。	**◎「取組と目標」を設定した際の「理想像」を記入してください。** ・「取組と目標」を設定した際に目指した「理想像」を確認し、記入すること。 ・上記についてわからなければ、後付けでもいいので「理想像」を考えて記入すること。	**◎「現状と課題」に記入した課題等を解決するため、計画に記載した取組を記入してください。**	**◎「取組」に対し、計画に記載した目標を記入してください。**	**◎令和2年度の取組状況と、「目標」に対する令和2年度の実績を記入してください。**	**◎目標に対する実績、及び「理想像」に近づいているかどうかという観点から自己評価を行い、その結果をプルダウンで選択してください。** 「◎」達成できた 「○」概ね達成できた 「△」達成はやや不十分 「×」全く達成できなかった から選択	**◎左記自己評価について、どのような理由からそのような評価を行ったのか、記入してください。** ・目標の達成状況に関する調査及び分析内容（達成できた背景、達成できなかった要因・課題等）について記入すること。	**◎左記自己評価を受けて、今後の対応策等を記入してください。**
1	高齢者の身近な通いの場への社会参加や、積極的な社会参加活動の推進	高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、ケアの仕組みを構築します。住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進・深化します。 【課題】 高齢化が進行しているため、地域の担い手が減少している。65歳以上人口及び75歳以上人口も減少しているが、それを上回る率で、生産年齢人口が減少しているため、介護事業所を含めた産業全体の継続が難しくなってきている。	通いの場の個所数 自治会単位で1箇所以上 現状355自治会 2017実績を鑑み箇所を増した 支え合い活動拠点 日常生活圏域に1箇所で設定 圏域設定17箇所 住民主体の介護予防拠点数 65歳以上人口約10,000人×10%で 1拠点20人と設定し50箇所を目標設定	高齢者の身近な通いの場への参加や、積極的な社会参加活動を推進し、地域の担い手として活躍できるしくみを拡充していきます。 さらに高齢者の生きがいや介護予防、健康づくりを推進し「閉じこもり」や「転倒」予防に取り組み健康長寿につなげます。 また、介護予防・日常生活支援総合事業の見直しや拡充、給付の適正化を図り重度化を防止する取り組みを強化していきます。	通いの場の個所数 2017：251箇所 2018：390箇所 2019：395箇所 2020：400箇所 支え合い活動拠点数 2017：10箇所 2018：12箇所 2019：15箇所 2020：17箇所 住民主体の介護予防拠点数 2017：10箇所 2018：20箇所 2019：35箇所 2020：50箇所	通いの場の個所数 2018：245箇所 2019：248箇所 2020：237箇所 支え合い活動拠点数 2018：11箇所 2019：11箇所 2020：12箇所 住民主体の介護予防拠点数 2018：14箇所 2019：16箇所 2020：18箇所	△	・通いの場については、自治会単位で1箇所以上を目標としたが、自治会内の高齢化により維持が困難な通いの場が出始めているため、箇所数が減少している状況である。継続した取組ができる支援体制が必要となっている。 ・支え合い活動拠点数及び住民主体の介護予防拠点数はあまり増えていないが、周知活動等により取組内容等は住民に浸透しているので、今後も引き続きを進めていく。 ・高齢者人口が減少していくなかで、通いの場の数が維持できているのは、実質な増である。維持ができれる支援も行っている。	これまで以上に、地区住民が集う場に積極的に出向き、介護予防活動の普及啓発活動に引き続き取り組んでいく。 あわせて、通いの場づくりや健康週一運動の助成制度の説明も行っていく。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組んでいることから、通いの場への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）を推進していく。
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート 【介護給付の適正化】

市町村名：竹田市

記入要領	項 目		現状と課題	理 想 像	取 組	目 標	取組状況と実績	自己評価		次年度対応策
	◆介護給付の適正化 **◎項目名は変更しないでください。** ※実施していない項目の各セルについては、斜線を入れてください。		**◎「取組と目標」を設定した背景（現状と課題）を記入してください。** ・計画に記載していればそれでもよいです。	**◎「取組と目標」を設定した際の「理想像」を記入してください。** ・「取組と目標」を設定した際に目指した「理想像」を確認し、記入すること。 ・上記についてわからなければ、後付けでもいいので「理想像」を考えて記入すること。	**◎「現状と課題」に記入した課題等を解決するため、計画に記載した取組を記入してください。**	**◎「取組」に対し、計画に記載した目標を記入してください。**	**◎令和2年度の取組状況と、「目標」に対する令和2年度の実績を記入してください。**	**◎目標に対する実績、及び「理想像」に近づいているかどうかという観点から自己評価を行い、その結果をプルダウンで選択してください。** 「◎」達成できた 「○」概ね達成できた 「△」達成はやや不十分 「×」全く達成できなかった から選択	**◎左記自己評価について、どのような理由からそのような評価を行ったのか、記入してください。** ・目標の達成状況に関する調査及び分析内容（達成できた背景、達成できなかった要因・課題等）について記入すること。	**◎左記自己評価を受けて、今後の対応策等を記入してください。**
1	**要介護認定の適正化**		高齢者等が可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じた日常生活を営むことができるようにするとともに、限られた資源を効率的・効果的に活用するために、介護給付費の適正化を図る。	介護（予防）給付が被保険者の自立支援、介護予防又は重度化防止につながっているかの検証、良質な給付のために必要な事業所へのアドバイスなどを通じて、真に被保険者本人に取って必要なサービスが提供できていることを目指す。	居宅介護支援事業所等に委託している認定調査結果、直営調査について審査会事務職員等による点検（調査項目と特記事項の整合性等）を実施	2,000件	1,472件	○	審査会事務局2名により、全件チェックを行うことができた。 ※新型コロナウィルス感染症拡大防止対策の影響で、審査会件数が減少した影響あり。	概ね目標を達成できたので、今後も継続して実施していく。
2	**ケアプランの点検**				利由者の自立支援に資する適切なケアプランであるか等に着目した点検を実施	145件	87件	○	ケア会議での点検に加え、5居宅介護支援事業所の13プランの点検を行い、おおむね達成できた。 ※新型コロナウィルス感染症拡大防止対策の影響で、ケア会議の開催件数が減少した影響あり。	ケアプラン点検は実施できているので、今後も継続して実施していく。
3	**住宅改修等の点検**	**住宅改修の点検**			理学療法士や作業療法士等の専門職を派遣し、訪問調査のうえ、必要性や利用状況等を確認を行い、適正な住宅改修や福祉用具購入や貸与ができるよう点検	100件	45件	○	地域包括支援センター所属の理学療法士等による訪問調査ができ、適正に点検を行うことができた。	概ね目標を達成できたので、今後も継続して実施していく。
		福祉用具の購入・貸与の点検					67件	○		
4	**縦覧点検・医療情報との突合**	**縦覧点検**			国保連具会により提供されたデータに基づき、提供されたサービスの整合性、算定回数，算定日数等の点検を行い、請求内容の誤り等を早期に発見して過誤処理等を実施	12回	12回	△	データーの抽出のみで終わっていることもあり、職員の知識不足、人員不足のため点検が十分できなかった。	学習、研修を重ね、複数の職員が点検ができるよう検討していく。
		医療情報の突合				6回	12回	△		
5	**介護給付費通知**				介護認定審査会の結果通知と同時に要支援認定の更新申請者に対し、利用者本人（又は家族）に対して、サービスの請求状況及び費用等について通知	100通	224通	◎	認定審査会の結果通知の送付と同時に行ったことが漏れがなく、目標としている対象者に対し通知することができた。	概ね目標を達成できたので、今後も継続して実施していく。
6	**給付実績を活用した適正化事業**									
7	**その他**									